

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：教育格差を考える ILAS Seminar :Introduction to educational inequality			担当者所属 職名・氏名	教育学研究科 教授 岡邊 健		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2024・前期	受講定員 (1回生定員)	15 (15) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	水5	教室	総合研究2号館地階 / 教育学部 第5演習室 (本部構内)		使用言語	日本語	
キーワード	教育格差 / 社会学 / 教育社会学						
[授業の概要・目的]							
<p>本人が変えることのできない「生まれ」（出身家庭の経済状況、保護者の職業、居住地域、ジェンダー、エスニシティなど）によって、その人の学力や学歴など、広義の教育に関する格差が生まれることが、知られています。これを「教育格差」と呼びます。本セミナーでは、教育格差を切り口に、教育と社会との関わり方、学校が教育格差に与える影響、教育格差という観点でみたときの教師や保護者のあり方、ジェンダーやエスニシティが教育格差とどのような関係にあるのか、などについて学びます。また、教育格差の観点から、非行や不登校、いじめなどの教育問題についての理解を深めてもらいます。</p> <p>履修者のみなさんには、毎回の授業前に、教科書（『現場で使える教育社会学 教職のための「教育格差」入門』）の該当章を読んだうえで、疑問点や考えたことを準備してきてもらいます。授業では、教科書の内容を簡単に確認した上で、疑問点の共有や意見交換を中心に進めます。</p> <p>履修にあたっての予備知識は特に不要ですが、「在学中に、社会学・教育社会学・教育学に関連する研究（卒論執筆等）をしたい」という方には、ぜひ積極的に履修してほしいと考えます。また、そのような研究分野の研究者を志望している方も、ウェルカムです。</p>							
[到達目標]							
<ul style="list-style-type: none"> ・教育格差に関する社会的な概念や理論について理解する。 ・教育と社会の関係について、データに基づいて論じることができる。 							
[授業計画と内容]							
第01回 ガイダンス 第02回 教科書第1章（教育は社会の中で行われている）及び第2章（教育内容・方法は社会と深く関わっている） 第03回 教科書第3章（教育は階層社会の現実から切り離せない）及び第5章（制度が隔離する高校生活） 第04回 教科書第4章（「平等」なはずの義務教育にも学校間格差がある） 第05回 教科書第6章（教師は社会的存在である） 第06回 教科書第7章（保護者・子どもの言動の背後にあるものを見据える） 第07回 教科書第8章（教師はどのように生徒と関わってきたのか） 第08回 教科書第9章（非行は学校教育と密接に結びついている） 第09回 教科書第10章（進路が実質的に意味する生徒の未来） 第10回 教科書第11章（「性別」で子どもの可能性を制限しないために） 第11回 教科書第12章（日本の学校も多文化社会の中にある） 第12回 教科書第13章（特別活動と部活動に忍びよる格差） 第13回 教科書第14章（不登校・いじめは「心の問題」なのか） 第14回 教科書第15章（「現場」のために教師が社会調査を学ぶ）							
ILASセミナー：教育格差を考える(2)へ続く							

ILASセミナー：教育格差を考える(2)

第15回 まとめとフィードバック

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

授業終了後に毎回ミニツレポート（感想、疑問、コメントなど）を提出してもらいます。評価は、授業中の討論への積極的参加の度合い（20%）、ミニツレポート（80%）により評価します。ミニツレポートは、到達目標の達成度に基づき評価します。

【教科書】

中村高康・松岡亮二編『現場で使える教育社会学 教職のための「教育格差」入門』（ミネルヴァ書房、2021年）ISBN:9784623092604

【参考書等】

（参考書）

岡邊健編『犯罪・非行からの離脱（デジスタンス）』（ちとせプレス、2021年）ISBN:9784908736230

岡邊健編『犯罪・非行の社会学 常識をとらえなおす視座 [補訂版]』（有斐閣、2020年）ISBN:9784641184534

上記のほか、教科書各章の「文献紹介」欄を参考にしてください。

【授業外学修（予習・復習）等】

毎回の授業前に、教科書の指定された章を読んだうえで、疑問点や考えたことを準備してきてもらいます。これらを毎行なう自信のない方は、履修できません。

【その他（オフィスアワー等）】

授業中は、講師や他の履修生とのディスカッションを行いますので、積極的・能動的に参加することを期待します。